

## シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	電装整備作業		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	2年前期	・ 月～水曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	9 8. 8時限（期末試験を除く）		
担当教員名	廣石 泰大・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車の電装関連及びそれに付随する内容を総合的に整備する上で必要となる基礎知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	二輪自動車の電装関連及びそれに付随する内容を総合的に整備する上で必要となる基礎知識と技術の習得を目的とする。		
テキスト	① 実習テキスト		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	充電装置	充電装置のシステム回路作成及び測定技術の習得	
第2回	始動装置1	始動装置（自動無段変速機車）のシステム回路作成及び測定方法の習得	
第3回	始動装置2	始動装置（6速マニュアル車）のシステム回路作成及び測定技術の習得	
第4回	点火装置1	点火装置（AC-CDI、DC-CDI）のシステム回路作成及び測定方法の習得	
第5回	点火装置2	点火装置（トランジスタ式）のシステム回路作成及び測定方法の習得	
第6回	オシロスコープ1	オシロスコープを使用する目的を理解し、機器の取扱と操作方法を習得する	
第7回	オシロスコープ2	オシロスコープを用いて各種波形を測定し読取りが出来ることを習得する	
第8回	基本回路復習	ボード回路（基本回路）の復習	
第9回	配線図とシステム回路図	配線図の復習と、システム回路作成	
第10回	故障探求の基礎	ボード回路を利用し、故障探究の基礎となる電気の流れを習得する	

第 11 回	スイッチ・灯火類	小型～中型車両の車体電装関連全般の復習 ・ヘッドライト、ディマスイッチ ・ターンシグナル、ハザード ・テールランプ、ストップランプ ・メインスイッチ ・充電回路 ・点火回路	
第 12 回			
第 13 回			
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第13回までの授業内容に関する 実技試験	
	期末試験	第1回～第13回までの授業内容に関する 実技試験	
到達目標	点火・充電・始動装置において、基本を理解した上で応用の内容につなげていく事を 目標とする。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価，出席及び授業態度），ステッ プ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し，レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は，補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点 とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって 評価する。</p> <p>60～69点 = 可、70～79点 = 良、80～89点 = 優、90点以上 = 秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を 認定し、成績は60点 = 可とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が60点未満の場合。		